

二十四軒 アレコレ探索ガイド

移住150年



昭和37年ごろの
空から見た二十四軒

山鼻・辛未一ノ村からの 移住者24戸がひらいた物語

企画・編集：琴似・二十四軒まちづくりセンター 琴似2条7丁目1-10 TEL 011-621-2508 発行月：2022(令和4)年1月
協力：琴似屯田子孫会事務局長 永峰貴、二十四軒連合町内会、二十四軒東連合町内会
参考文献：琴似町史、西区ホームページ、歴史の街 西区、新 西区のおいたち、郷土誌 二十四軒、連町40年のあゆみ 二十四軒連合町内会
創立50周年記念誌「共に歩んで50年わがマチ二十四軒」、創立50周年記念誌「わたしたちの二十四軒東」

二十四軒地区の町内会に加入しませんか？

二十四軒地区では、安心・安全、きれいな街で気軽に交流できる環境を目指して、それぞれの地区の町内会が、さまざまな活動に取り組んでいます。

主な活動事例(※各町内会・自治会によって活動内容は異なります。)

- 交流・親睦** 夏まつり、敬老会、親睦会など
- 環境整備** ごみステーションの設置・管理、街路の花壇整備、町内清掃など
- 防犯・防災** 子どもたちの登下校時の見守り、交通安全運動など
- 高齢者福祉** 単身高齢者への見守り、茶話会の開催など
- 除雪関係** 生活道路の排雪(パートナーシップ除雪)



これらの活動は、主に加入世帯の会費によって支えられています。
町内会への加入ご希望の方は、下記を検索してください。

オンラインで札幌市役所を経由しての加入も可能です。 スマートフォン
<http://www3.city.sapporo.jp/shimin/shinko/> で検索！
ホームページ下段に、「加入申込フォーム」があります。



二十四軒連合町内会、二十四軒東連合町内会、二十四軒地区各单位町内会

二十四軒のアレコレ

二十四軒を語るうえで外せない物語の
アレコレを紹介します

「二十四軒」という地名

1871(明治4)年、開拓使は山鼻地域の東本願寺周辺に暮らしていた「辛未一ノ村」の人々を、強制的に琴似村に移住させました。この時の移住戸数が、二十四軒、八軒、現在の中央区宮の森にあたる十二軒などの集落の名前となり、そのまま今も二十四軒の地名が根付くことになりました。

この移住は、開拓使が「すすきの遊郭」を建設することに伴うまちづくりの一環として行われたものです。

また、1872(明治5)年5月に戸長制度が実施されると、坪内猪之助が初代の副戸長となり、自宅が戸長役場となりました。なお、戸長役場の場所は現在の二十四軒4条7丁目北5条手稲通(旧国道5号)沿いにある日登寺の向かい側あたりでした。



昭和30年頃の二十四軒



地下鉄東西線の開通

もしかすると、 路面電車が走っていた!?

旧琴似町と札幌市が合併したのは、1955(昭和30)年。

その頃、路面電車の路線延長が話題になっていました。札幌駅から、桑園駅、さらに二十四軒、琴似駅前を経て現在の発寒中央駅付近までの延長が考えられていました。

ところが、二十四軒はその話を断ったそうです…。

理由は、当時、二十四軒一帯は農地が広がる地域で、農業で生計を立てていた住民が路線延長によって農地を失いかねない状況に反対したことによるものでした。

結果的に、二十四軒を路面電車が走る姿を見ることはできませんでしたが、代わりに「地下鉄東西線が通ることになってありがたい」という声があるとかないとか。

ラベンダーといえば…二十四軒！

『ラベンダー通』の愛称で親しまれている二十四軒手稲通。ラベンダー通の愛称は、道路に植えられたラベンダーが毎年初夏に紫色の花穂をつけることからきています。

北海道民ならラベンダーといえば、富良野。そしてラベンダー栽培の発祥地は札幌市南区の南ノ沢とも言われています。

ところが、ラベンダーのルーツは“実は二十四軒”だったのです。1938(昭和13)年、東京の曾田香料という会社が現在の「坂ビスケット」の北側付近に工場を建て、翌年山の手で栽培されたラベンダーを原料に香料を生産しました。その後、南ノ沢に栽培地を拡大したのです。富良野地方での栽培はそれより9年後となる1948(昭和23)年のことでした。

都市近郊の農業地としての役割

昭和30年代後半から昭和40年代にかけて札幌の都市化が進み、道路や建物などが二十四軒の周辺にも広がり、陵北中学校もこの頃に誕生します。ところが二十四軒のほとんどは畑地のままでした。つまり、都市近郊の農業地としての役割をしっかりと担っていたということです。

1972(昭和47)年の札幌冬季オリンピックをきっかけに地下鉄が開通したことで、アパートやマンションが立地するようになり、徐々に住宅地へと変化していきましたが、今でも二十四軒駅の近くに農村だった面影を見ることができます。



屯田兵二十四軒開拓百年記念碑



二十四軒手稲通(ラベンダー通)



農業地としての二十四軒